

川崎重工業株式会社

NO.2026034

2026年6月8日

介護施設と入居者家族をつなぐ動画配信サービス「つづるムービー」の提供開始 ～日本マイクロソフトとの共創による独自 AI を活用～



家族向け配信動画のイメージ（日常生活やイベント時における入居者の様子が伝わる動画を提供）

川崎重工は、動画配信サービス「つづるムービー」（以下、本サービス）を開発し、介護付有料老人ホーム「ディアージュ神戸」（兵庫県神戸市）へのサービス提供を開始しました。

本サービスは、介護施設の入居者家族向けの動画配信サービスで、動画形式により入居者の近況を家族に分かりやすく伝えることで、施設と家族のコミュニケーションを支援します。また、日本マイクロソフト株式会社との共創による独自 AI を活用し、複数の入居者が含まれた映像でも、自動的に特定の入居者を識別することで、動画制作時の作業効率性の向上を実現しています。さらには、動画に関する専門的なスキルを必要とせずに、入居者の様子が伝わる動画を手軽に作成し配信することが可能です。電話や手紙などの従来の提供方法では、伝えきれなかった入居者の日常の様子を、直感的に届けることで、家族と介護施設の信頼関係の構築・維持に貢献します。

当社は、2024 年より介護業務支援サービス事業に参画し、介護現場の生産性と介護の質の両立および向上に取り組んでいます。この取り組みのひとつとして、各地の介護施設の現場に入り、運営責任者や介護職員からのヒアリング調査を行い、入居者への介護サービスに加え、記録や情報共有などの付帯業務を含めた幅広い業務の課題を把握してきました。そのなかで入居者家族とのコミュニケーションが多くの施設に共通する課題であることが明らかになっています。

近年は、核家族化の進展や単身世帯の増加により、家族が日常的に介護を担うことが難しくなる中、介護施設の活用が広がっています。こうした背景の中、入居者と離れて暮らす家族は、日常の様子を十分に把握できず、施設への不安や疑問を感じやすい傾向があります。加えて、仕事を持つ家族にとっては、限られた時間のなかで施設側とのコミュニケーションを行う必要があり、心理的・時間的な負担も生じます。こうした状況に対し、本サービスは、家族の理解や安心感を高め、施設と家族との信頼関係の構築や円滑なコミュニケーションを実現する重要な役割を果たします。

今後は、さらなる動画制作の効率性や品質向上のために、対象者の様子が伝わる最適なシーンの自動抽出、映像の完全自動編集などの機能実装にも取り組み、将来的には介護施設で使用するソーシャルロボットの機能として搭載することも視野に入れています。

なお、当社とマイクロソフトは、2023年10月にAI・IoTを活用したソリューション創出や人材育成を目的とした「Microsoft AI Co-Innovation Lab KOBE」（兵庫県神戸市）を設立し、企業のDX課題や新規事業創出に向けた共創やプロトタイプ構築、グローバルな技術活用を推進しています。本サービスで活用する独自AIは、この取り組みを通じて、マイクロソフトの高度なAI技術および画像認識技術、当社が介護現場で蓄積してきた現場データや知見を融合することで創出した成果です。

<本サービスの主な特長>

■ 高齢者に特化した複数の入居者に対応できるAI顔識別機能

独自のAI技術により複数の入居者が映る映像でも、それぞれの入居者の顔を正確に識別することが可能（顔の特徴などを基に高齢者に特化したAIが認識し、指定の入居者が映るシーンを選別）



独自AIによる顔識別のイメージ

■ プライバシーに配慮した家族への動画送信システム

動画配信システム上から入居者家族へ動画を配信可能

（家族専用のサーバー上への動画アップロードによりプライバシー性を保ちながら速やかな提供を実現）

当社は、今後も介護業界を取り巻く課題に対し、テクノロジーを活用した付加価値の高いサービスの提供を推進していきます。介護が必要な方々の尊厳を守りながら、介護職員およびその家族を含めた介護に関わる全ての方を支えることで、持続可能な介護業界の構築に貢献していきます。

※ Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

<配信動画イメージ>（撮影協力：介護付有料老人ホーム「ディアージュ神戸」）

<https://youtu.be/7R49ny5CjKc?si=QuxUdIyW8hYv8y6P>

<関連プレスリリース>

「介護現場への機器やロボット導入を支援する介護業務支援サービス事業に参入」（2024年8月7日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20240807_1.html

「介護現場向け「ソーシャルロボット」の開発に本格着手」（2024年11月26日）

https://www.khi.co.jp/news/detail/20241126_1.html

「介護施設の現場改善を支援する「介護DXパッケージモデル」を開発」（2026年5月18日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20260518_1.html